

第2章 津山市の子ども・子育てに関する現状等

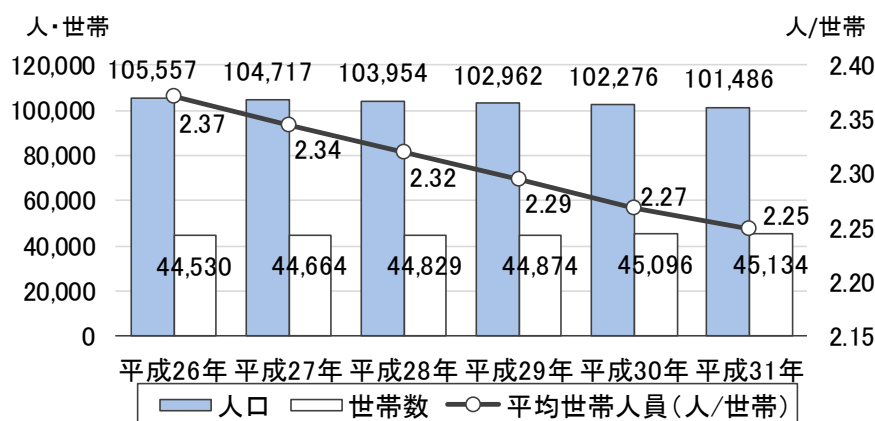
1 少子化等の現状

(1) 人口・世帯数等の状況

① 総人口と世帯数

本市の総人口は平成31年4月1日現在では101,486人となっており、減少傾向が続いています。

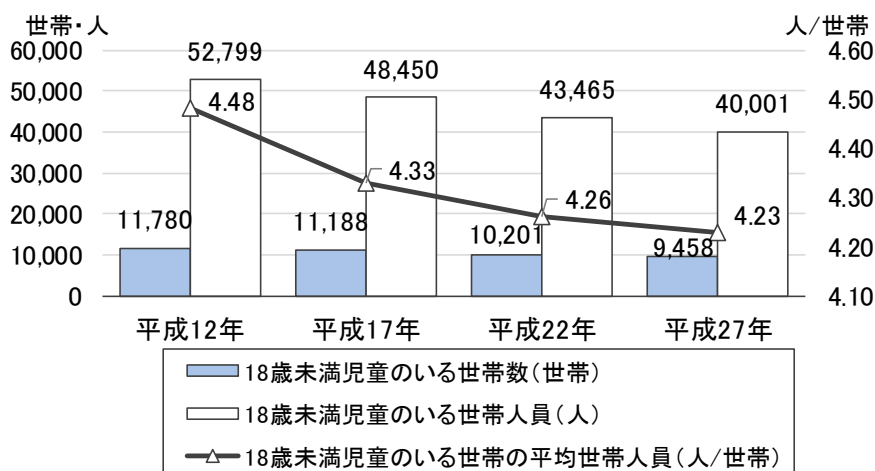
一方で、世帯数は年々増加しており、平成31年4月1日現在では45,134世帯となっています。1世帯当たりの平均人員は減少しており、平成31年4月1日現在で2.25人であり、小家族化の進行がうかがえます。



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

② 18歳未満児童のいる世帯数と平均世帯人員

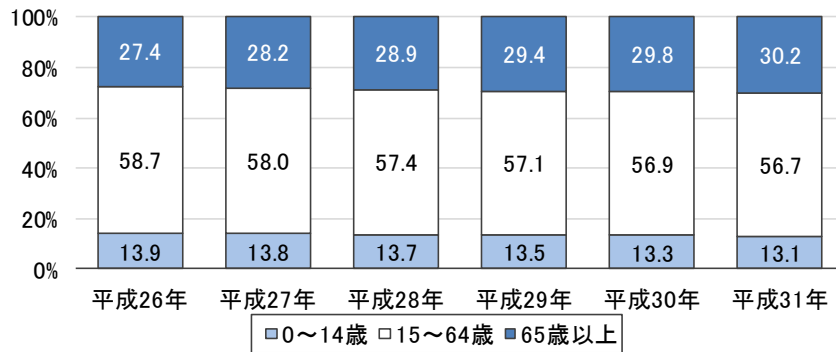
本市の18歳未満児童のいる世帯数は減少傾向で推移しており、平成27年では9,458世帯と1万世帯を下回りました。18歳未満児童のいる世帯の1世帯当たりの平均世帯人員は平成27年で4.23人となっており、子どものいる世帯においても小家族化が進行しているといえます。



資料：国勢調査

③ 年齢3区分別人口比

本市の年齢3区分別人口の比率をみると、0～14歳の年少人口割合及び15～64歳の生産年齢人口割合は減少傾向、65歳以上の高齢者人口割合は増加傾向にあり、65歳以上の高齢者人口割合が平成31年に3割を超えているように、「少子高齢化」が進行しています。各人口割合について平成26年と平成31年を比べると、年少人口割合は0.8ポイント減少、高齢者人口割合は、2.8ポイント増加しています。



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

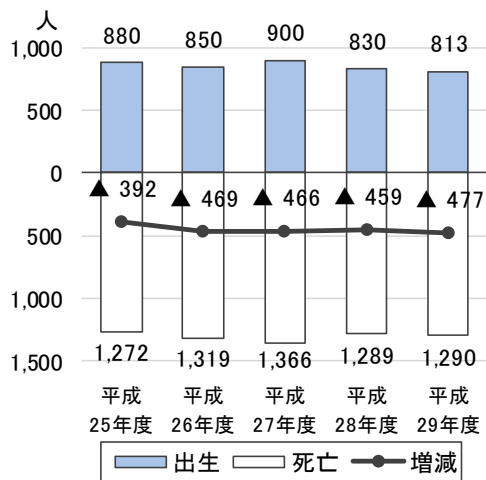
（2）人口動態の状況

① 自然動態※¹と社会動態※²

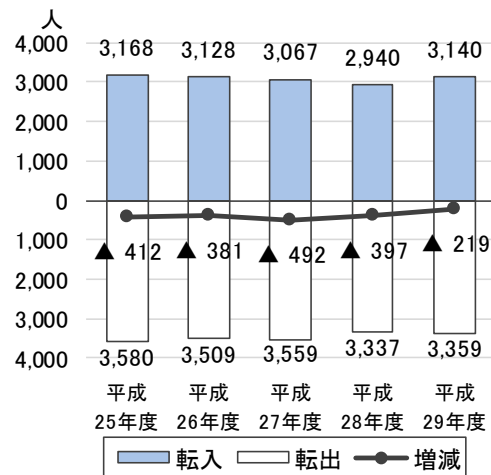
本市の人口の自然動態をみると、過去5年間は死亡数が出生数を上回る自然減となっています。平成29年度では、出生数が813人、死亡数が1,290人で477人が自然動態による減少となりました。

また、社会動態は、過去5年間では転出数が転入数を上回る社会減となっていますが、平成29年度では、社会動態による減少数が219人と、過去5年間では最も少ない減少数となっています。

■ 自然動態



■ 社会動態



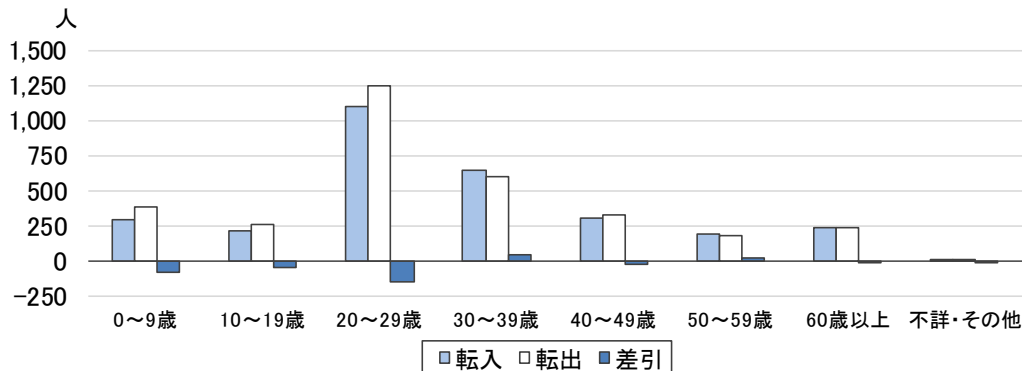
資料：津山市統計書

※1：自然動態とは、出生・死亡に伴う人口の動きのこと

※2：社会動態とは、転入・転出に伴う人口の動きのこと

② 年齢別社会動態

本市の人口の平成 30 年の年齢別の社会動態をみると、0～9 歳、10～19 歳、20～29 歳の年齢層で転入と転出の差分による減少が大きくなっています。



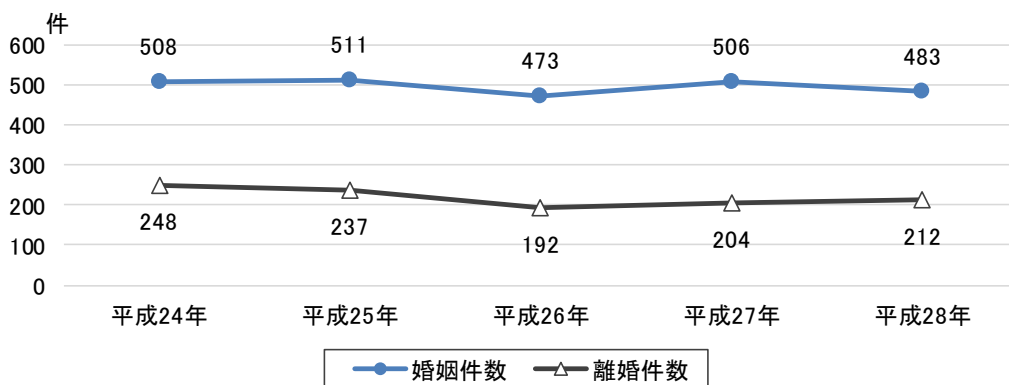
資料：住民基本台帳人口移動報告（平成 30 年）

（3）婚姻と出生率の状況

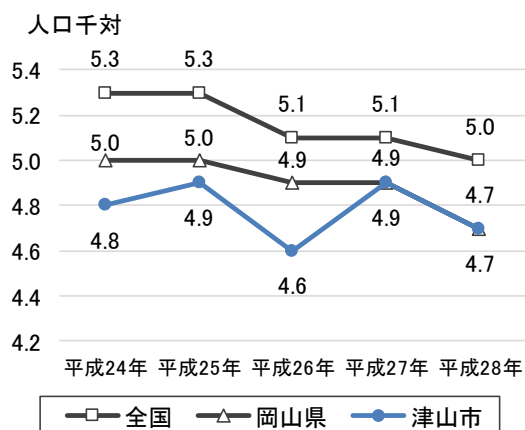
① 婚姻・離婚の件数と割合

本市の婚姻件数は減少かほぼ横ばいで推移しており、平成 28 年では 483 件となっています。離婚件数も同様の傾向で、平成 28 年では 212 件となっています。婚姻率は、全国、岡山県と比べ同水準かやや低く、離婚率は、全国、岡山県と比べて高い割合で推移しています。

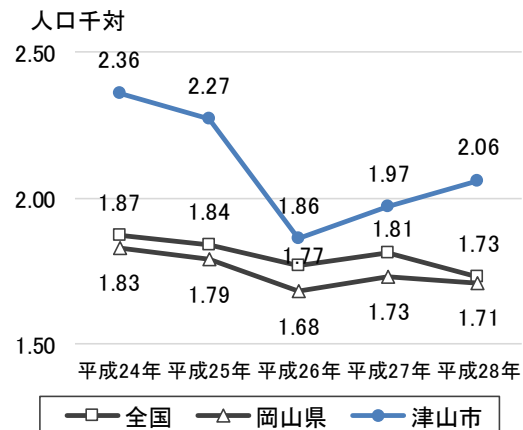
■ 婚姻件数と離婚件数の推移



■ 婚姻率



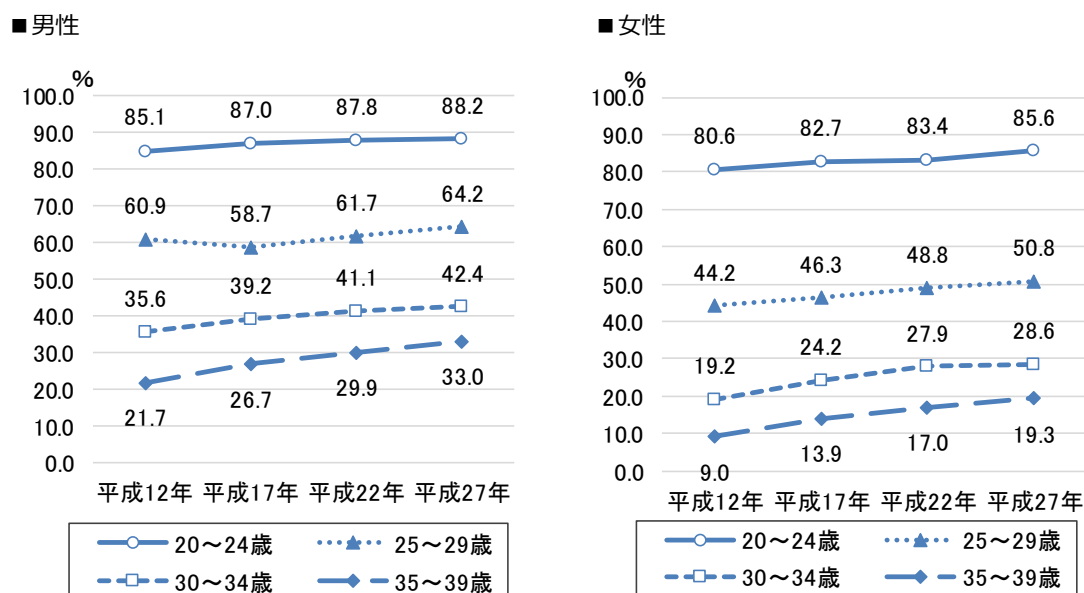
■ 離婚率



資料：岡山県衛生統計年報

② 男女別未婚率

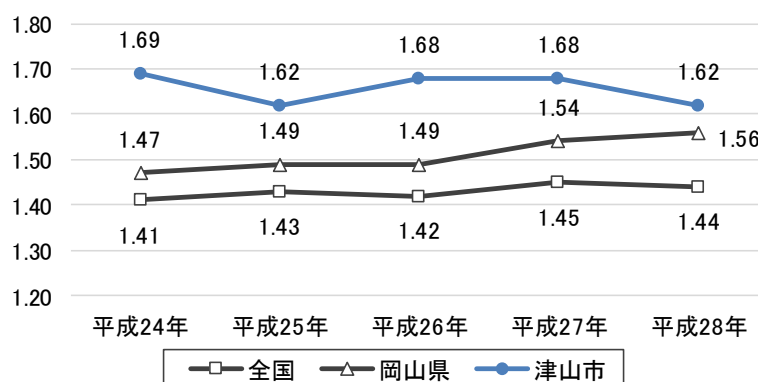
本市の20歳～39歳の未婚率は、男女ともに増加傾向となっています。平成27年では男性の25～29歳で64.2%、30～34歳で42.4%、35～39歳で33.0%が未婚となっています。女性では25～29歳で約半数、30～34歳で28.6%、35～39歳で19.3%が未婚となっています。津山市でも晩婚化、未婚化の傾向がうかがえます。



資料：国勢調査

③ 合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産むとされる子どもの数）

本市の合計特殊出生率は、平成24年から平成28年の間、ほぼ横ばいで推移しています。全国、岡山県を上回っており、相対的に高い水準で推移しています。



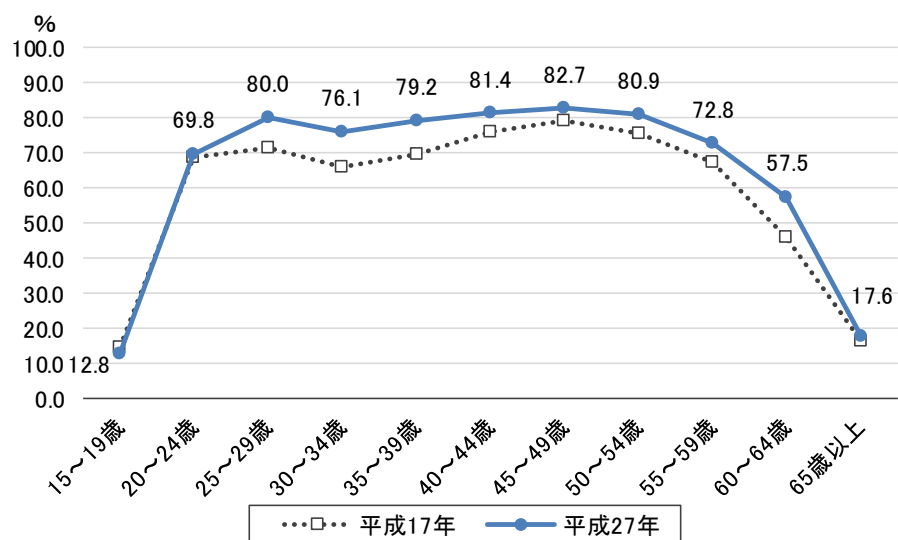
資料：岡山県衛生統計年報

(4) 就業の状況

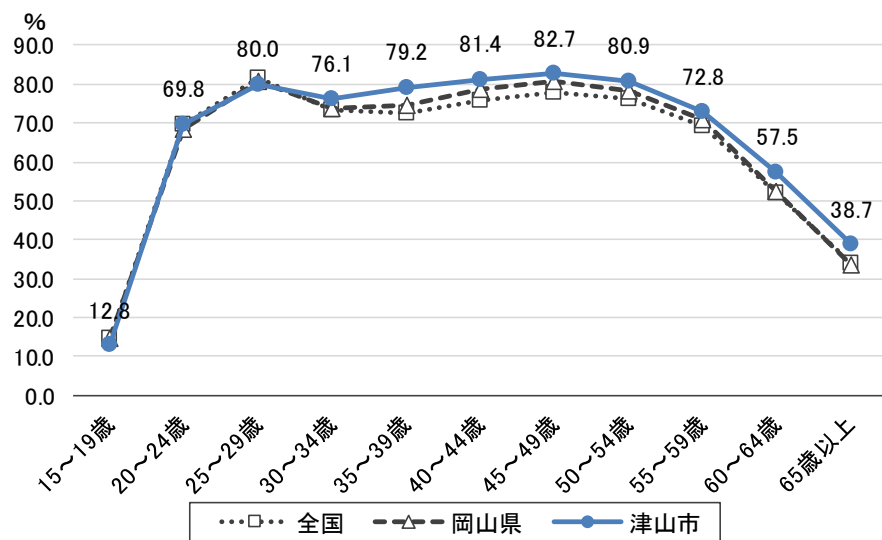
① 女性の労働力率

本市の女性の労働力率は、平成 17 年と比べると 25～39 歳の増加が顕著にみられます。全国、岡山県と比較すると、30 歳代以上ではやや高い水準となっています。

■平成 17 年との比較



■全国・岡山県との比較（平成 27 年）



資料：国勢調査

2 第1期津山市子ども・子育て支援事業計画の総括

(1) 進捗状況評価

第1期計画は、令和元年度が計画期間の最終年度に当たりますが、記載された各事業の進捗状況や目標の達成状況、今後の課題等について把握し、本計画に反映するため、平成30年度までの取組状況について各事業・施策の担当課で評価を実施しました。

第1期計画では、3つの基本目標と10の中目標の下、21の基本的施策を展開し、143の事業・施策を掲げています。評価は、各事業・施策ごとに、「十分達成（10割以上）」、「概ね達成（8割以上）」、「ある程度達成（6割以上）」、「達成不十分（6割未満）」、「未達成（4割未満）」の5段階で採点を行っており、達成状況を確認・判断できないものについては「評価不能」としました。（基本目標ごとの総括は後述します。）

その結果、下表のとおり「ある程度達成（6割以上）」以上と評価された事業・施策数は128となり、評価不能を除く事業・施策数139に対する達成率は92.1%でした。

■ 第1期計画記載事業の評価内容集計

評価	該当数	施策・事業名
①十分達成 (10割以上)	59	歯科検診と指導の充実、食に関する学習の場の提供、保幼小連携の充実、放課後子ども教室、津山市教育相談センター「鶴山塾」、妊婦一般健康診査、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）、病児保育事業（医療機関型）、つどいの広場事業（親子ひろば「すくすく」）、つやまっ子家庭教育推進事業、学校支援ボランティア、チャレンジクラブ、自主防犯組織活動支援事業、ワーク・ライフ・バランスの啓発、民生委員・児童委員による支援ネットワークの強化 等
②概ね達成 (8割以上)	51	乳幼児健康診査、朝食摂取の推進、公立教育・保育施設の計画的整備、特別支援教育、妊婦への妊娠・出産に関する知識等の啓発、子育て短期支援事業、児童相談窓口の周知、要保護児童への迅速かつ適切な支援、げんぼくんの家庭学習、My Town つやま活用事業、男女共同参画等意識啓発、ファミリー・サポート・センター事業の普及 等
③ある程度達成 (6割以上)	18	乳幼児の食育、教育・保育人材確保事業、児童発達支援事業「てけてけ」、不登校対策、思春期保健等対策 等
④達成不十分 (6割未満)	9	わかる授業、療育相談、ひとり親家庭の相談体制の充実 等
⑤未達成 (4割未満)	2	ひとり親家庭の父や母の就労支援、子育て世帯対応住戸の拡充
⑥評価不能	4	※休止中、または廃止した事業が含まれます
計	143	達成率92.1% (128 (①+②+③) / 139 (全体-⑥))

(2) 評価指標の達成状況

第1期計画では、次世代育成支援対策の主要な取組について、20の指標を設定しました。20の指標について、目標達成状況は以下のとおりです。

■基本目標1 子どもが笑顔で育つまちづくり

	指標名	事業・施策名	最終目標値 (令和元年度)	実績値※	
1	乳幼児健康診査受診率	乳幼児健康診査	100%	乳児	97.2%
			100%	1歳6か月	97.1%
			100%	3歳	97.9%
2	乳幼児(3歳児)の朝食摂取率	乳幼児の食育	100%	91.8%	
3	保育園(所)の待機児童数	通常保育(保育園(所)・幼稚園)	0人	0人	
4	学力・学習状況調査(4教科)で県の平均点を上回った教科数	わかる授業	4教科	0教科	
5	放課後子ども教室設置数	放課後子ども教室	18教室	20教室	
6	保育園(所)・幼稚園、小中学校等への図書貸出数	学校園等への図書貸出	64,000冊	61,699冊	
7	幼児を対象とする療育訓練実施延べ人数	児童発達支援事業「てけてけ」	2,800人 (実利用者100人)	1,946人 (実利用者68人)	
8	不登校出現率	不登校対策	県平均未満	小学校	0.69% (県0.77%)
			県平均未満	中学校	3.07% (県3.09%)

※実績値は、平成30年度の数値

■基本目標2 楽しく子育てできるまちづくり

	指標名	事業・施策名	最終目標値 (令和元年度)	実績値※	
9	妊婦一般健康診査受診率	妊婦一般健康診査	85%	100%	
10	放課後児童クラブのクラス数	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	37クラス	37クラス	
11	一時預かり事業実施保育園(所)数	一時預かり事業(一般型)	17園	14園	
12	ファミリー・サポート・センター会員数	ファミリー・サポート・センター事業	1,100人	1,051人	
13	ひとり親家庭相談サポート件数	ひとり親家庭の相談体制の充実	1,230件	572件	

	指標名	事業・施策名	最終目標値 (令和元年度)	実績値※
14	ひとり親家庭就労支援者数	ひとり親家庭の父や母の就労支援	35 人	16 人 (高等職業 2 人、自立教育 1 人、 就労支援 13 人)
15	乳児家庭への訪問率	乳児家庭全戸訪問事業	100%	99.9%
16	養育支援を必要とする家庭への訪問率	養育支援訪問事業	100%	100%
17	小中学校での親学講座、保育園(所)・幼稚園での家族ふれあい教室の参加者数	つやまっ子家庭教育推進事業	5,100 人	5,828 人

※実績値は、平成 30 年度の数値

■基本目標 3 子ども・子育てを支える地域力づくり

	指標名	事業・施策名	最終目標値 (令和元年度)	実績値※
18	郷土学習のための施設等への訪問を実施した小学校数	My Town つやま活用事業	全 27 校	27 校
19	学校支援地域本部設置小中学校数	学校支援地域本部事業	全 35 校	35 校
20	ワーク・ライフ・バランス講習会開催回数	ワーク・ライフ・バランスの啓発	2 回以上	2 回

※実績値は、平成 30 年度の数値

(3) 中目標ごとの総括

第1期計画では、3つの基本目標それぞれに中目標を設定しました。10の中目標ごとに、事業・施策の取組や進捗状況について評価を行います。

① 子どもの健康を確保する（基本目標1 子どもが笑顔で育つまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
14	5	8	1	0	0	0	100.0%

《総括と課題》

子どもの健康の確保について、乳幼児健康診査では未受診者には再通知・訪問や電話等による受診勧奨を実施しており、9割台後半の受診率となっています。また、継続した観察が必要な児童に対しては、健診後も様子を把握し、必要に応じて相談や経過観察児教室、療育等の支援を行っています。歯の健康を保つための歯科指導は、様々な機会を活用して保護者に対して行っており、虫歯のない幼児の割合は目標値を上回る9割以上となっています。

子どもの食育の推進については、普及啓発活動を幼児期の教育・保育施設や親子クラブ、児童館等と連携して実施しており、乳幼児の朝食摂取率は9割台と高くなっていますが、野菜摂取率（毎食）が2割台と低調であり、改善が必要です。

② 子どもの「生きる力」を育む（基本目標1 子どもが笑顔で育つまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
42	7	18	12	5	0	—	88.1%

《総括と課題》

幼児教育・保育の充実について、保育園（所）でのいわゆる“待機児童”は、平成23年度以降ゼロとなっています。教育・保育施設の安定的な運営のためには、教育・保育を担う人材確保も重要になっており、潜在的有資格者の就労促進や保育園（所）・幼稚園・認定こども園の安定的人材確保を目的としたセミナーの開催など取組が進められています。また、公立教育・保育施設の計画的な整備により、幼稚園の再編や認定こども園への移行が進んでいます。今後は、幼児教育・保育の量的な確保に加えて、質の確保にも引き続き取り組んでいくことが必要です。

学校教育等の充実について、小中学校の学力・学習状況調査は、県平均との差に改善がみられるものの依然として県平均を下回っており、学力向上に向けた取組が引き続き求められます。放課後や週末等の子どもたちの居場所として、様々な体験活動や交流活動、学習活動を行う放課後子ども教室の実施箇所数は市内20か所となっており、目標の実施箇所数を達成しました。

次代の親の育成として、学生や生徒が乳幼児やその保護者とふれあう機会を提供しているほか、特別な問題を抱える児童への支援については、特別支援に関する幼児教育・保育施設に対する研修機会や巡回指導等を通じた保育者の支援力向上に取り組んでいます。また、保護者への相談対応や療育支

援体制の充実を図るとともに、引き続き民間事業者とも連携を図り、支援体制の強化を進めることが必要です。

③ 子どもを取り巻く有害環境への対策（基本目標 1 子どもが笑顔で育つまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10 割以上)	概ね達成 (8 割以上)	ある程度達成 (6 割以上)	達成不十分 (6 割未満)	未達成 (4 割未満)	評価不能	達成率
5	2	1	1	1	0	—	80.0%

《総括と課題》

思春期保健対策について、飲酒・喫煙等の防止に関する知識の普及に向けた小中学校養護教諭との連携や、薬物乱用防止教室を各中学校で実施しています。

消費生活・情報モラル教育の推進については、市内の学校における消費生活講座や情報モラル教育に取り組んでいます。スマートフォンや SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の普及など子どもを取り巻く生活環境は近年大きく変化しており、引き続き学校や家庭と連携をとりながら啓発を進める必要があります。

④ 母親の健康を確保する（基本目標 2 楽しく子育てできるまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10 割以上)	概ね達成 (8 割以上)	ある程度達成 (6 割以上)	達成不十分 (6 割未満)	未達成 (4 割未満)	評価不能	達成率
4	3	1	0	0	0	—	100.0%

《総括と課題》

妊産婦等への保健医療の充実として、母子健康手帳交付者全員に保健師が面接を行い、「母子健康手帳副読本」等のパンフレットを活用して、妊娠期からのサービス利用について説明を行っているほか、妊娠・出産に関する知識の普及や相談対応を行う教室を開催しています。妊婦一般健康診査についても、ほぼすべての方が妊婦健診を受診することができており、安心して妊娠・出産ができる相談・支援体制の強化が進められています。

⑤ 子育てに係る経済的支援や子育てと仕事の両立に向けた支援（基本目標 2 楽しく子育てできるまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10 割以上)	概ね達成 (8 割以上)	ある程度達成 (6 割以上)	達成不十分 (6 割未満)	未達成 (4 割未満)	評価不能	達成率
18	6	7	1	3	1	—	77.8%

《総括と課題》

多様な子育て支援サービスの充実について、放課後児童クラブは利用者数が増加するクラブの組数を増設するなど、受け入れ体制の整備が進んでいます。現在、市内 37 クラスで実施しており目標を達成しています。病児保育事業は、目標であった市内 2 か所目となる新規施設を平成 30 年 3 月に開設するとともに、引き続き事業や実施施設についての周知・広報に取り組んでいます。また、援助を

希望する人と支援者との相互援助活動に関する連絡・調整を行うファミリー・サポート・センター事業については、会員募集チラシの配布や講習会の開催により、年々会員数が増加しています。

ひとり親家庭等の自立支援については、母子父子自立支援員を配置して相談対応を行い、警察や他部署と連携しながら必要な支援につなげています。相談件数は目標を下回っていますが、インターネットからでも支援員に相談できるように「相談フォーム」を開設するなど、相談のしやすい環境づくりが進められています。

⑥ 市のサービス周知や相談体制の充実（基本目標 2 楽しく子育てできるまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
13	5	8	0	0	0	—	100.0%

《総括と課題》

子育て支援に係る情報提供と相談体制の充実について、「津山市子育て支援ガイドブック」の配布や「つやま子育てネット」の活用により、子育て支援サービスや各種給付、子育てに関する行事等の情報発信を行っています。また、乳児家庭全戸訪問事業や、津山すこやか・こどもセンターや支所、地域での育児相談・指導、親子ひろば「すくすく」、「わくわく」の運営等を通じて、相談のしやすい環境づくりが進められています。児童相談窓口による相談件数は増加傾向にあり、子育てに関する問題や悩みを抱える保護者が増加していることもうかがえることから、今後も体制の整備に取り組む必要があります。

養育支援の必要な家庭への援助と児童虐待防止の対策として、「津山市要保護児童対策地域協議会」に所属する関係機関と連携し児童虐待防止に取り組むほか、要保護児童への迅速かつ適切な支援を行うため、ケース検討会議等を開催し、関係機関と連携を行い支援が進められています。

⑦ 親育ちや家庭教育向上への支援（基本目標 2 楽しく子育てできるまちづくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
6	3	3	0	0	0	—	100.0%

《総括と課題》

家庭教育への支援として、小学校・中学校入学時にリーフレット「げんぽくんの家庭学習」を配付し、家庭学習の必要性の啓発や学習習慣の定着を図っています。また、小中学校での親学講座、幼稚園での家族ふれあい教室など、親に対する学習機会を提供しています。保護者向けの読み聞かせ講座や読み聞かせ会の開催により、読書活動のきっかけづくりや読書習慣の定着に向けた取組も進められています。

⑧ 子どもの生きる力を育む地域力の向上（基本目標 3 子ども・子育てを支える地域力づくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
21	14	1	2	0	0	4	100.0%

《総括と課題》

学校教育との連携については、開かれた学校づくりとして市内小中学校全 35 校（市立）の学校ホームページを作成したほか、My Town つやま活用事業として校外学習を中心とした見学や地域の講師を招いた体験型学習を行うなど、地域資源を積極的に活用した地域に根差した学校づくりが進められています。また、学校支援ボランティアも登録目標数に達し、登下校時の見守りや学習支援、本の読み聞かせ等で子ども達への支援が幅広く進んでいます。

地域による教育力向上として、PTA 活動の促進や情報交換を図るため、PTA 会員を対象とした講演や講習会の実施、スポーツを通じた親子のふれあいの場を提供することを目的としたチャレンジクラブ（親子を対象としたスポーツ教室）が開催されています。

子どもを有害環境や犯罪、事故から守る取組として、青色防犯パトロールを行う自主防犯組織の活動支援や防犯カメラや防犯灯の設置推進を行ったほか、交通安全への啓発活動や幼稚園・保育園（所）等での交通安全教室は目標を上回る開催数となっています。

⑨ 子育て家庭に対する地域や企業の支援体制等の強化（基本目標 3 子ども・子育てを支える地域力づくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
12	7	3	1	0	1	—	91.7%

《総括と課題》

仕事と生活の調和実現に向けた取組として、機関紙えすぽあや広報津山など紙媒体での周知のほか、さん・さん祭りや講演会などを実施し、男女共同参画の意識啓発に努めています。また、企業担当者を対象としたワーク・ライフ・バランスに関するセミナーや、シンポジウムの開催を通じて啓発が進められています。一方で、仕事と家庭、子育ての両立に向けては地域や企業などの理解や支援制度の普及が依然として重要であり、取組の強化が求められます。

地域による子育て家庭への支援強化として、ファミリー・サポート・センター事業の普及に向けた講習会や交流会の開催のほか、地域で子育てをする重要性についての啓発を広報紙やホームページで行っています。

安全・安心な生活環境の整備として、子育て世帯のニーズを勘案しながら市営住宅戸数の確保に引き続き取り組んでいく必要があります。

⑩ 「地域力」を高めるネットワークづくり（基本目標 3 子ども・子育てを支える地域力づくり）

施策・事業数	十分達成 (10割以上)	概ね達成 (8割以上)	ある程度達成 (6割以上)	達成不十分 (6割未満)	未達成 (4割未満)	評価不能	達成率
8	7	1	0	0	0	—	100.0%

《総括と課題》

子育て支援団体等の育成・支援と連携等の強化として、民生委員・児童委員による各地区での学校訪問・挨拶運動や見守りの実施のほか、地域ぐるみで子育てを進めるための母親クラブ・親子クラブの活動促進、愛育委員・栄養委員の協力による声かけ訪問などに取り組んでおり、引き続き子育て支援に取り組む団体との連携により地域の子育て力を高め、安心・安全な子育て環境づくりを図っていくことが求められます。

（４）幼児期の教育・保育の利用・確保状況

第１期計画では、幼児期の教育・保育に関する「量の見込み（利用ニーズ）」を設定し、これに対応するための具体的な提供方針としての「確保方策」を定めました。計画値と利用実績は以下のとおりです。

なお、各認定区分の内容と対象となる利用施設は次のとおりです。

■認定区分

認定区分	内 容	利用施設
１号	満３歳以上で、幼稚園等での教育を希望する就学前子ども （教育標準時間認定）	幼稚園・認定こども園（教育利用）
２号	満３歳以上で、保育の必要性の認定を受けた就学前子ども （保育認定）	保育園（所） ・認定こども園（保育利用）
３号	満３歳未満で、保育の必要性の認定を受けた就学前子ども （保育認定）	保育園（所）・認定こども園（保育利用） ・地域型保育（※）

※小規模保育（利用定員６人以上１９人以下）、家庭的保育（利用定員５人以下）、事業所内保育（主として従業員の子どもに保育を提供）、居宅訪問型保育（居宅において１対１の保育を提供）の４種類

① １号認定（幼稚園・認定こども園（教育利用））

【単位：実利用人数／年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	742	736	728	728	714
【計画値】確保方策	760	743	743	743	743
実績値（入園児童数（人））	604	586	549	522	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	20	20	20	18	17
【計画値】確保方策	30	30	30	30	30
実績値（入園児童数（人））	22	28	18	6	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	14	13	14	13	14
【計画値】確保方策	0	0	15	15	15
実績値（入園児童数（人））	-	15	22	24	
久米地区					
【計画値】量の見込み	5	5	5	4	4
【計画値】確保方策	0	0	5	5	5
実績値（入園児童数（人））	-	-	1	9	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	781	774	767	763	749
【計画値】確保方策	790	773	793	793	793
実績値（入園児童数（人））	626	629	590	561	

② 2号認定・3号認定（保育園（所）・認定こども園（保育利用））

【単位：実利用人数/年】

津山地区	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	1,503	897	297	1,489	883	290	1,473	863	284
	計 2,697			計 2,662			計 2,620		
【計画値】確保方策	1,478	770	252	1,477	791	262	1,489	800	265
	計 2,500			計 2,530			計 2,554		
実績値（入園児童数（人））	1,630	907	322	1,658	913	338	1,603	962	310
	2,859			2,909			2,875		
実績値（利用定員（人））	2,490			2,544			2,550		

津山地区	平成 30 年度			令和元年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	1,474	842	277	1,446	822	270
	計 2,593			計 2,538		
【計画値】確保方策	1,500	806	265	1,508	808	265
	計 2,571			計 2,581		
実績値（入園児童数（人））	1,663	949	308			
	2,920					
実績値（利用定員（人））	2,550					

加茂・阿波地区	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	52	39	7	54	36	7	51	36	7
	計 98			計 97			計 94		
【計画値】確保方策	55	35	8	53	34	8	53	34	8
	計 98			計 95			計 95		
実績値（入園児童数（人））	63	27	9	58	33	8	44	30	11
	99			99			85		
実績値（利用定員（人））	100			100			100		

加茂・阿波地区	平成 30 年度			令和元年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	47	35	7	44	34	6
	計 89			計 84		
【計画値】確保方策	53	34	8	53	34	8
	計 95			計 95		
実績値（入園児童数（人））	52	36	12			
	100					
実績値（利用定員（人））	100					

【単位:実利用人数/年】

勝北地区	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	102	42	9	94	43	9	98	42	9
	計 153			計 146			計 149		
【計画値】確保方策	135	45	10	140	45	10	140	45	10
	計 190			計 195			計 195		
実績値（入園児童数（人））	129	46	12	119	50	12	128	50	12
	187			181			190		
実績値（利用定員（人））	200			200			200		
勝北地区	平成 30 年度			令和元年度					
	2 号	3 号		2 号	3 号				
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳			
【計画値】量の見込み	94	40	8	97	38	8			
	計 142			計 143					
【計画値】確保方策	140	45	10	140	45	10			
	計 195			計 195					
実績値（入園児童数（人））	121	56	5						
	182								
実績値（利用定員（人））	200								

久米地区	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	133	51	11	135	44	11	134	44	10
	計 195			計 190			計 188		
【計画値】確保方策	130	57	13	130	57	13	130	57	13
	計 200			計 200			計 200		
実績値（入園児童数（人））	143	66	24	150	72	22	151	68	21
	233			244			240		
実績値（利用定員（人））	200			200			200		
久米地区	平成 30 年度			令和元年度					
	2 号	3 号		2 号	3 号				
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳			
【計画値】量の見込み	117	43	10	106	42	10			
	計 170			計 158					
【計画値】確保方策	130	57	13	130	57	13			
	計 200			計 200					
実績値（入園児童数（人））	145	62	25						
	232								
実績値（利用定員（人））	200								

【単位:実利用人数/年】

全地区合計	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	2 号	3 号		2 号	3 号		2 号	3 号	
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳
【計画値】量の見込み	1,790	1,029	324	1,772	1,006	317	1,756	985	310
	計 3,143			計 3,095			計 3,051		
【計画値】確保方策	1,798	907	283	1,800	927	293	1,812	936	296
	計 2,988			計 3,020			計 3,044		
実績値（入園児童数（人））	1,965	1,046	367	1,985	1,068	380	1,926	1,110	354
	3,378			3,433			3,390		
実績値（利用定員（人））	2,990			3,044			3,050		
全地区合計	平成 30 年度			令和元年度					
	2 号	3 号		2 号	3 号				
	3-5 歳	1-2 歳	0 歳	3-5 歳	1-2 歳	0 歳			
【計画値】量の見込み	1,732	960	302	1,693	936	294			
	計 2,994			計 2,923					
【計画値】確保方策	1,823	942	296	1,831	944	296			
	計 3,061			計 3,071					
実績値（入園児童数（人））	1,981	1,103	350						
	3,434								
実績値（利用定員（人））	3,050								

(5) 地域子ども・子育て支援事業の利用・確保状況

第1期計画で設定した、地域子ども・子育て支援事業に関する計画値（「量の見込み」及び「確保方策」）と、計画期間中の利用実績は以下のとおりです。

① 利用者支援事業

【単位：必要施設数】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
加茂・阿波地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
勝北地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
久米地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
量の見込み（全地区合計）	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所
確保方策（箇所数）	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所
実績値					
津山地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
加茂・阿波地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
勝北地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
久米地区	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	
実績値（全地区合計）	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所	

② 地域子育て支援拠点事業

【単位：延べ利用人数/月】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	2,968 人日	2,912 人日	2,847 人日	2,777 人日	2,711 人日
加茂・阿波地区	76 人日	72 人日	71 人日	69 人日	67 人日
勝北地区	218 人日	219 人日	214 人日	205 人日	194 人日
久米地区	278 人日	254 人日	249 人日	241 人日	239 人日
量の見込み（全地区合計）	3,540 人日	3,457 人日	3,381 人日	3,292 人日	3,211 人日
確保方策（箇所数）	5 か所	5 か所	5 か所	5 か所	5 か所
実績値					
津山地区	1,781 人日	4,150 人日	5,999 人日	4,173 人日	
加茂・阿波地区	-	-	-	-	
勝北地区	178 人日	189 人日	228 人日	295 人日	
久米地区	218 人日	260 人日	240 人日	264 人日	
実績値（全地区合計）	2,177 人日	4,599 人日	6,467 人日	4,732 人日	
実施箇所数計	5 か所	6 か所	6 か所	6 か所	

③ 妊婦健康診査

【単位:延べ利用人数/年】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	9,009 人回	8,800 人回	8,591 人回	8,382 人回	8,173 人回
加茂・阿波地区	231 人回	231 人回	231 人回	209 人回	209 人回
勝北地区	451 人回	440 人回	418 人回	396 人回	396 人回
久米地区	396 人回	385 人回	363 人回	363 人回	363 人回
量の見込み (全地区合計)	10,087 人回	9,856 人回	9,603 人回	9,350 人回	9,141 人回
実績値					
津山地区	9,807 人回	8,846 人回	9,486 人回	8,286 人回	
加茂・阿波地区	310 人回	244 人回	201 人回	242 人回	
勝北地区	440 人回	451 人回	333 人回	373 人回	
久米地区	385 人回	364 人回	427 人回	416 人回	
実績値 (全地区合計)	10,942 人回	9,905 人回	10,447 人回	9,317 人回	

④ 乳児家庭全戸訪問事業

【単位:実利用人数/年】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	777 人	758 人	741 人	723 人	706 人
加茂・阿波地区	20 人	19 人	19 人	19 人	18 人
勝北地区	39 人	38 人	37 人	35 人	33 人
久米地区	33 人	33 人	32 人	31 人	31 人
量の見込み (全地区合計)	869 人	848 人	829 人	808 人	788 人
実績値					
津山地区	719 人	736 人	783 人	715 人	
加茂・阿波地区	22 人	28 人	20 人	21 人	
勝北地区	39 人	46 人	25 人	37 人	
久米地区	37 人	31 人	33 人	34 人	
実績値 (全地区合計)	817 人	841 人	861 人	807 人	

⑤ 養育支援訪問事業

【単位:実利用人数/年】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	135 人	135 人	135 人	135 人	135 人
加茂・阿波地区	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人
勝北地区	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人
久米地区	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人
量の見込み (全地区合計)	150 人	150 人	150 人	150 人	150 人
実績値					
津山地区	128 人	135 人	209 人	223 人	
加茂・阿波地区	1 人	9 人	14 人	8 人	
勝北地区	5 人	11 人	15 人	16 人	
久米地区	1 人	10 人	7 人	5 人	
実績値 (全地区合計)	135 人	165 人	245 人	252 人	

⑥ 子育て短期支援事業

【単位:延べ利用人数/年】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	30 人日	30 人日	29 人日	29 人日	28 人日
加茂・阿波地区	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日
勝北地区	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日
久米地区	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日
量の見込み (全地区合計)	30 人日	30 人日	29 人日	29 人日	28 人日
実績値					
実績値 (全地区合計)	57 人日	45 人日	136 人日	84 人日	

⑦ ファミリー・サポート・センター事業

【単位:延べ利用人数/年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	978 人日	962 人日	946 人日	926 人日	910 人日
【計画値】確保方策	978 人日	962 人日	946 人日	926 人日	910 人日
実績値	1,264 人日	1,142 人日	770 人日	954 人日	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	42 人日	42 人日	36 人日	36 人日	36 人日
【計画値】確保方策	42 人日	42 人日	36 人日	36 人日	36 人日
実績値	12 人日	1 人日	2 人日	4 人日	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	68 人日	62 人日	57 人日	57 人日	47 人日
【計画値】確保方策	68 人日	62 人日	57 人日	57 人日	47 人日
実績値	23 人日	22 人日	6 人日	2 人日	
久米地区					
【計画値】量の見込み	62 人日	62 人日	57 人日	57 人日	57 人日
【計画値】確保方策	62 人日	62 人日	57 人日	57 人日	57 人日
実績値	0 人日	37 人日	36 人日	37 人日	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	1,150 人日	1,128 人日	1,096 人日	1,076 人日	1,050 人日
【計画値】確保方策	1,150 人日	1,128 人日	1,096 人日	1,076 人日	1,050 人日
実績値	1,299 人日	1,202 人日	814 人日	997 人日	

⑧-1 一時預かり事業（幼稚園型）

【単位：延べ利用人数/年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	28,337 人日	28,064 人日	27,768 人日	27,780 人日	27,246 人日
【計画値】確保方策	28,337 人日	28,064 人日	27,768 人日	27,780 人日	27,246 人日
実績値	12,565 人日	15,261 人日	11,265 人日	12,120 人日	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	1,882 人日	1,952 人日	1,836 人日	1,696 人日	1,603 人日
【計画値】確保方策	1,882 人日	1,952 人日	1,836 人日	1,696 人日	1,603 人日
実績値	578 人日	2,002 人日	1,538 人日	279 人日	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	404 人日	372 人日	386 人日	372 人日	382 人日
【計画値】確保方策	404 人日	372 人日	386 人日	372 人日	382 人日
実績値	-	222 人日	338 人日	187 人日	
久米地区					
【計画値】量の見込み	448 人日	457 人日	454 人日	394 人日	359 人日
【計画値】確保方策	448 人日	457 人日	454 人日	394 人日	359 人日
実績値	-	-	18 人日	223 人日	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	31,071 人日	30,845 人日	30,444 人日	30,242 人日	29,590 人日
【計画値】確保方策	31,071 人日	30,845 人日	30,444 人日	30,242 人日	29,590 人日
実績値	13,143 人日	17,485 人日	13,159 人日	12,809 人日	

⑧-2 一時預かり事業（一般型等）

【単位：延べ利用人数/年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	11,913 人日	11,708 人日	11,474 人日	11,242 人日	10,985 人日
【計画値】確保方策	11,913 人日	11,708 人日	11,474 人日	11,242 人日	10,985 人日
保育園(所)での一時預かり	11,190 人日	10,947 人日	10,689 人日	10,436 人日	10,156 人日
ファミリー・サポート・センター	723 人日	761 人日	785 人日	806 人日	829 人日
実績値	10,018 人日	9,447 人日	7,508 人日	7,099 人日	
保育園(所)での一時預かり	8,909 人日	8,361 人日	7,190 人日	6,850 人日	
ファミリー・サポート・センター	1,109 人日	1,086 人日	318 人日	249 人日	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	104 人日	95 人日	93 人日	95 人日	94 人日
【計画値】確保方策	104 人日	95 人日	93 人日	95 人日	94 人日
保育園(所)での一時預かり	92 人日	83 人日	81 人日	82 人日	81 人日
ファミリー・サポート・センター	12 人日	12 人日	12 人日	13 人日	13 人日
実績値	44 人日	35 人日	16 人日	40 人日	
保育園(所)での一時預かり	34 人日	34 人日	16 人日	36 人日	
ファミリー・サポート・センター	10 人日	1 人日	0 人日	4 人日	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	187 人日	182 人日	182 人日	175 人日	172 人日
【計画値】確保方策	187 人日	182 人日	182 人日	175 人日	172 人日
保育園(所)での一時預かり	175 人日	170 人日	170 人日	162 人日	159 人日
ファミリー・サポート・センター	12 人日	12 人日	12 人日	13 人日	13 人日
実績値	899 人日	393 人日	449 人日	626 人日	
保育園(所)での一時預かり	879 人日	378 人日	447 人日	624 人日	
ファミリー・サポート・センター	20 人日	15 人日	2 人日	2 人日	
久米地区					
【計画値】量の見込み	242 人日	235 人日	232 人日	212 人日	201 人日
【計画値】確保方策	242 人日	235 人日	232 人日	212 人日	201 人日
保育園(所)での一時預かり	227 人日	220 人日	216 人日	197 人日	186 人日
ファミリー・サポート・センター	15 人日	15 人日	16 人日	15 人日	15 人日
実績値	252 人日	326 人日	246 人日	428 人日	
保育園(所)での一時預かり	252 人日	298 人日	218 人日	391 人日	
ファミリー・サポート・センター	0 人日	28 人日	28 人日	37 人日	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	12,446 人日	12,220 人日	11,981 人日	11,724 人日	11,452 人日
【計画値】確保方策	12,446 人日	12,220 人日	11,981 人日	11,724 人日	11,452 人日
保育園(所)での一時預かり	11,684 人日	11,420 人日	11,156 人日	10,877 人日	10,582 人日
ファミリー・サポート・センター	762 人日	800 人日	825 人日	847 人日	870 人日
実績値	11,213 人日	10,201 人日	8,219 人日	8,193 人日	
保育園(所)での一時預かり	10,074 人日	9,071 人日	7,871 人日	7,901 人日	
ファミリー・サポート・センター	1,139 人日	1,130 人日	348 人日	292 人日	

⑨ 延長保育事業

【単位：実人数/年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	888 人	875 人	861 人	850 人	832 人
【計画値】確保方策	888 人	875 人	861 人	850 人	832 人
実績値（※延べ利用人数）	1,493 人	1,494 人	1,255 人	1,202 人	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	22 人	22 人	21 人	20 人	19 人
【計画値】確保方策	22 人	22 人	21 人	20 人	19 人
実績値（※延べ利用人数）	24 人	34 人	15 人	13 人	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	27 人	26 人	26 人	25 人	25 人
【計画値】確保方策	27 人	26 人	26 人	25 人	25 人
実績値（※延べ利用人数）	32 人	43 人	34 人	34 人	
久米地区					
【計画値】量の見込み	49 人	48 人	47 人	43 人	41 人
【計画値】確保方策	49 人	48 人	47 人	43 人	41 人
実績値（※延べ利用人数）	114 人	97 人	99 人	46 人	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	986 人	971 人	955 人	938 人	917 人
【計画値】確保方策	986 人	971 人	955 人	938 人	917 人
実績値（※延べ利用人数）	1,663 人	1,668 人	1,403 人	1,295 人	

⑩ 病児保育事業

【単位：延べ利用人数/年】

地区	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
計画値					
津山地区	1,945 人日	1,917 人日	1,886 人日	1,863 人日	1,823 人日
加茂・阿波地区	39 人日	39 人日	38 人日	36 人日	34 人日
勝北地区	71 人日	69 人日	68 人日	66 人日	65 人日
久米地区	94 人日	91 人日	90 人日	82 人日	78 人日
量の見込み（全地区合計）	2,149 人日	2,116 人日	2,082 人日	2,047 人日	2,000 人日
確保方策（箇所数）	2 箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所
実績値					
実績値（全地区合計）	829 人日	821 人日	912 人日	1,152 人日	
実施箇所数	1 箇所	1 箇所	2 箇所	2 箇所	

⑪ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【単位：実人数/年】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
津山地区					
【計画値】量の見込み	1,201 人	1,173 人	1,161 人	1,128 人	1,113 人
1～3 年生	955 人	929 人	925 人	893 人	884 人
4～6 年生	246 人	244 人	236 人	235 人	229 人
【計画値】確保方策	1,201 人	1,173 人	1,161 人	1,128 人	1,113 人
1～3 年生	955 人	929 人	925 人	893 人	884 人
4～6 年生	246 人	244 人	236 人	235 人	229 人
実績値	1,046 人	1,283 人	1,202 人	1,208 人	
1～3 年生	827 人	1,026 人	943 人	935 人	
4～6 年生	219 人	257 人	259 人	273 人	
加茂・阿波地区					
【計画値】量の見込み	56 人	48 人	41 人	42 人	42 人
1～3 年生	45 人	38 人	30 人	31 人	33 人
4～6 年生	11 人	10 人	11 人	11 人	9 人
【計画値】確保方策	56 人	48 人	41 人	42 人	42 人
1～3 年生	45 人	38 人	30 人	31 人	33 人
4～6 年生	11 人	10 人	11 人	11 人	9 人
実績値	57 人	59 人	61 人	53 人	
1～3 年生	40 人	43 人	29 人	30 人	
4～6 年生	17 人	16 人	32 人	23 人	
勝北地区					
【計画値】量の見込み	78 人	72 人	67 人	63 人	57 人
1～3 年生	61 人	55 人	51 人	48 人	44 人
4～6 年生	17 人	17 人	16 人	15 人	13 人
【計画値】確保方策	78 人	72 人	67 人	63 人	57 人
1～3 年生	61 人	55 人	51 人	48 人	44 人
4～6 年生	17 人	17 人	16 人	15 人	13 人
実績値	35 人	50 人	61 人	56 人	
1～3 年生	33 人	43 人	50 人	43 人	
4～6 年生	2 人	7 人	11 人	13 人	
久米地区					
【計画値】量の見込み	75 人	73 人	70 人	72 人	72 人
1～3 年生	59 人	57 人	54 人	57 人	58 人
4～6 年生	16 人	16 人	16 人	15 人	14 人
【計画値】確保方策	75 人	73 人	70 人	72 人	72 人
1～3 年生	59 人	57 人	54 人	57 人	58 人
4～6 年生	16 人	16 人	16 人	15 人	14 人
実績値	92 人	89 人	93 人	107 人	
1～3 年生	73 人	72 人	78 人	84 人	
4～6 年生	19 人	17 人	15 人	23 人	
全地区合計					
【計画値】量の見込み	1,410 人	1,366 人	1,339 人	1,305 人	1,284 人
1～3 年生	1,120 人	1,079 人	1,060 人	1,029 人	1,019 人
4～6 年生	290 人	287 人	279 人	276 人	265 人
【計画値】確保方策	1,410 人	1,366 人	1,339 人	1,305 人	1,284 人
1～3 年生	1,120 人	1,079 人	1,060 人	1,029 人	1,019 人
4～6 年生	290 人	287 人	279 人	276 人	265 人
実績値	1,230 人	1,481 人	1,417 人	1,424 人	
1～3 年生	973 人	1,184 人	1,100 人	1,092 人	
4～6 年生	257 人	297 人	317 人	332 人	

⑫ 実費徴収に係る補足給付事業

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
全地区・実施の有無					
実績値	—	—	—	—	実施

※令和元年 10 月から実施

3 アンケート調査からみる保護者の評価

津山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果から、これまで実施してきた事業・施策への評価や、今後強化すべき子育て支援施策を検討します。

(1)「基本目標1 子どもが笑顔で育つまちづくり」に関する結果

○幼児教育・保育の利用状況（平日）について、3歳以上では幼稚園の利用率が1割台半ば、認可保育園（所）が5割程度、認定こども園が3割程度。

○放課後児童クラブは、小学校低学年時に利用したい割合が6割以上と高い（未就学児5,6歳への調査）。

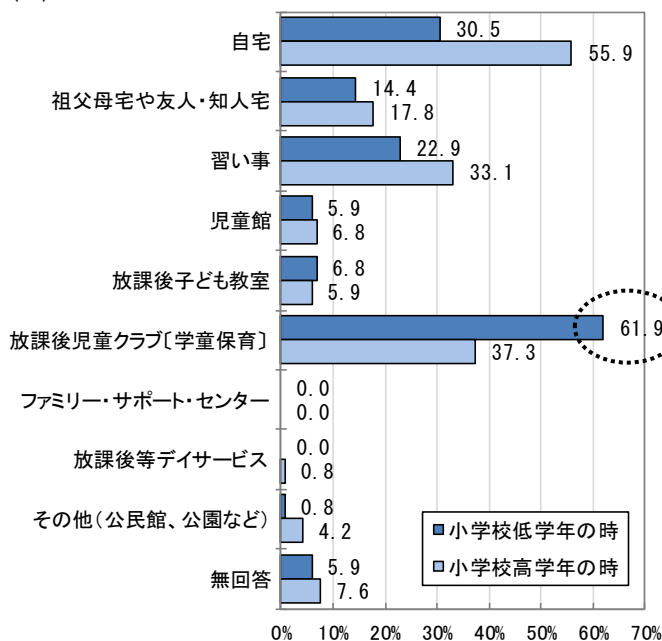
○遊びに関して、外遊びへのニーズのほか、地域の支援者が遊びを教えてくれる場所へのニーズも一定数ある。

【問】平日どのような教育・保育の事業を利用しているか（年齢別）

上段:度数 下段:% ※全体には年齢不詳を含む	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園(所)	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業	その他	無回答
全体	719 100.0	65 9.0	17 2.4	435 60.5	190 26.4	11 1.5	5 0.7	-	17 2.4	12 1.7	2 0.3
0歳	26 100.0	-	-	20 76.9	3 11.5	3 11.5	1 3.8	-	-	-	-
1歳	56 100.0	-	1 1.8	37 66.1	12 21.4	3 5.4	1 1.8	-	-	4 7.1	1 1.8
2歳	158 100.0	1 0.6	1 0.6	119 75.3	28 17.7	4 2.5	2 1.3	-	2 1.3	3 1.9	1 0.6
3歳	246 100.0	32 13.0	8 3.3	141 57.3	68 27.6	-	1 0.4	-	8 3.3	3 1.2	-
4歳	104 100.0	17 16.3	2 1.9	52 50.0	33 31.7	-	-	-	6 5.8	1 1.0	-
5歳	114 100.0	14 12.3	4 3.5	57 50.0	42 36.8	1 0.9	-	-	1 0.9	1 0.9	-

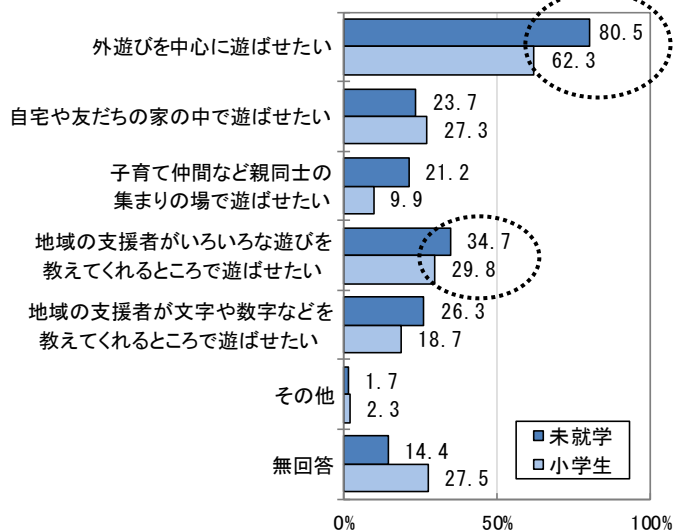
【問】放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか【5,6歳児】

(MA) N=118



【問】地域の中でお子さんを遊ばせたい場所【未就学、小学生】

(MA) 未就学: N=118 小学生: N=956



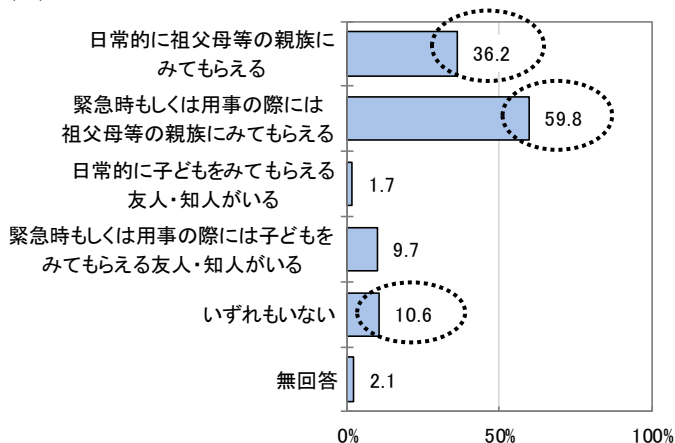
注)「N」「SA」「MA」は、それぞれ
「N」 = サンプル数のこと
「SA」 = 単回答のこと (Single Answer の略)
「MA」 = 複数回答のこと (Multiple Answer の略)
を示します。(以下、同じ)

（２）「基本目標２ 楽しく子育てできるまちづくり」に関する結果

- 日常的に祖父母等の親族に子どもを見てもらえる割合が３割台半ば。緊急時であれば約６割。**いずれもない割合が約１割**となっており、必要なサービスが利用できることが重要。
- 相談先は**親族や友人・知人、保育士の割合が高い**。気軽に相談できる多様な相談先の整備も引き続き重要。

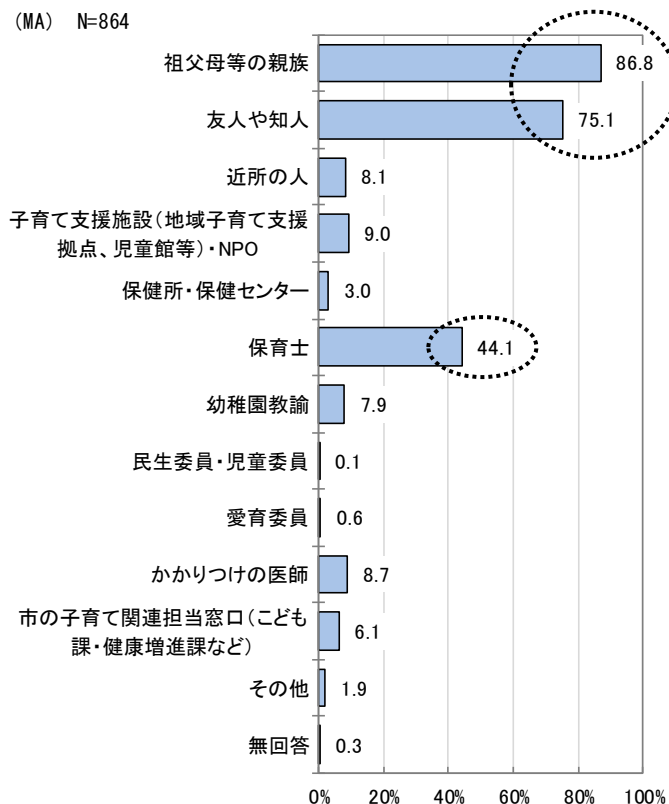
【問】日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人【未就学】

(MA) N=922



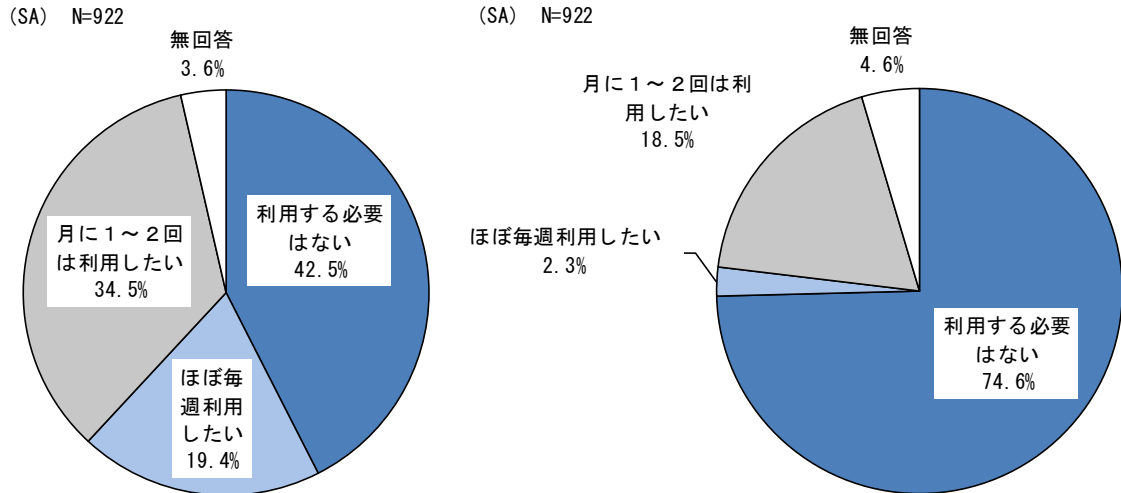
【問】子育てに関して、気軽に相談できる先【未就学】

(MA) N=864



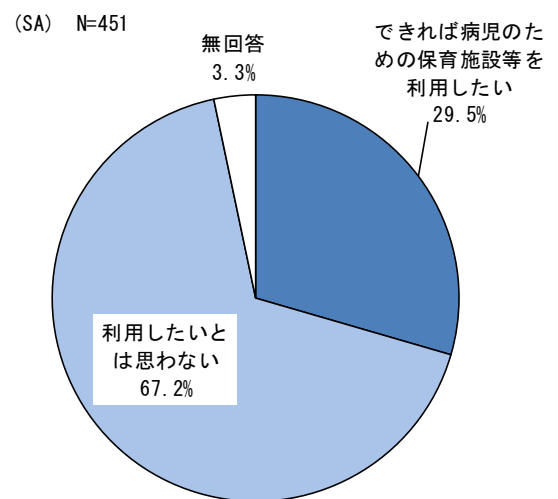
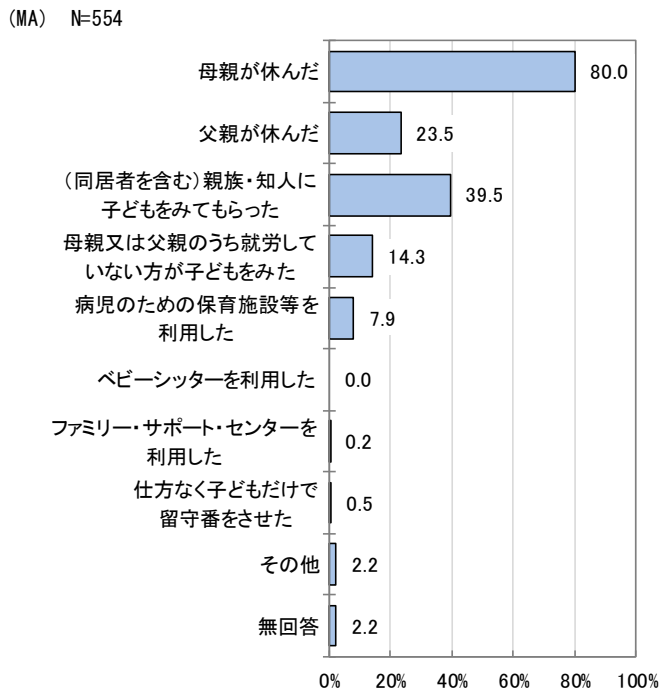
- 多様な子育て支援サービスとして、土曜日の教育・保育事業への利用ニーズが「**ほぼ毎週**」が約 2 割、「**月に 1 ～ 2 回**」が 3 割台半ば。日曜・祝日は「**月に 1 ～ 2 回**」が約 2 割。
- 子どもが病気やけがの際に、**病児保育施設等の利用を希望する割合が約 3 割**。

【問】土曜日・日曜日等の教育・保育事業の利用希望（左：土曜日 右：日曜・祝日）【未就学】



【問】お子さんが病気やけがの際のこの 1 年間に行った対処方法【未就学】

【問】「病児のための保育施設等」の利用希望【未就学】

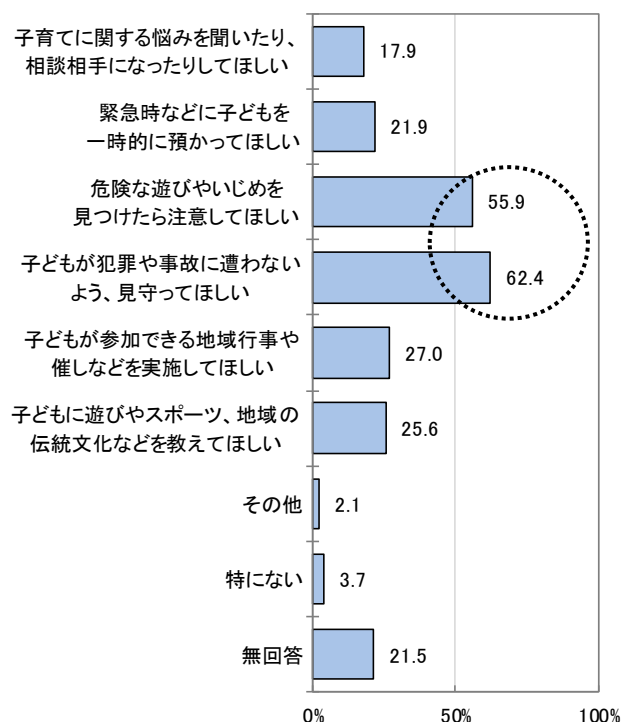


(3)「基本目標3 子ども・子育てを支える地域力づくり」に関する結果

- 地域に希望する子育て支援として、「見守り」や「注意」が半数以上。「地域行事や催し」「伝統文化を教える」も約4人に1人が回答。
- 仕事と子育ての両立で大変なことは、「自分や子どもが病気やケガをした時」が7割台半ばで高い。「子どもと接する時間が少ない」ことに問題意識をもつ人も約半数。
- 父親の育児休業の取得状況は1.2%となっており、男性の取得は未だ限定的。

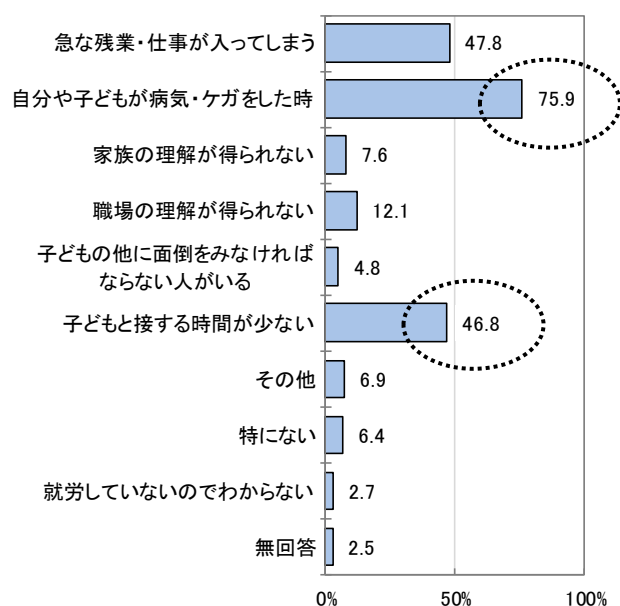
【問】子育て支援として、身近な地域の人に希望すること【未就学】

(MA) N=922



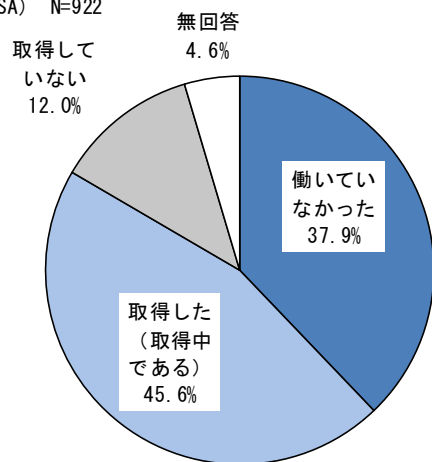
【問】仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること【小学生】

(MA) N=956

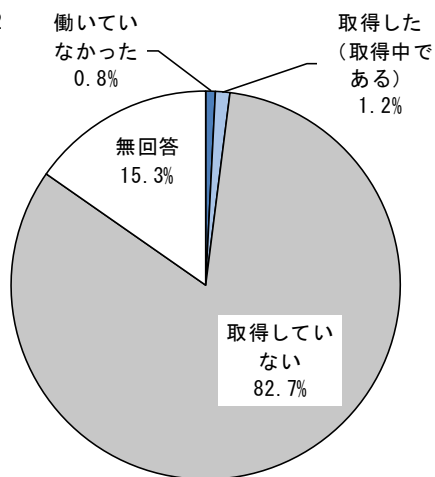


【問】育児休業の取得状況（左：母親 右：父親）【未就学】

(SA) N=922



(SA) N=922



(4) 子育て支援全般について

- 充実していると回答が多かったのは、「**子どもが医療を受ける機会の確保**」が **59.1%**と突出して高い。「**健康の確保・増進**」や「**食育の推進**」も約3割と他と比べて高い。
- 今後力を入れるべきと回答が多かったのは、「**仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し**」が **57.0%**で最も高く、次いで「**安心して外出できる環境の整備**」等が続く。
- 【充実していると思うもの】と【今後力を入れるべきもの】の差が大きい項目としては、「**仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し**」が50.6ポイント、「**安心して外出できる環境の整備**」が43.9ポイント。

【問】子育て支援施策として、「充実していると思うもの」「今後力を入れるべきもの」【未就学】

(MA) N=922

